

● 地域提案型

平成23年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	有害大気汚染物質モニタリング技術の普及による黒竜江省の大気環境保全支援事業
3. 事業の背景と必要性	中国黒竜江省は、経済発展や急速な都市化の影響により、揮発性有機化合物及び大気粉じん中の重金属類等による大気汚染が深刻な問題となっており、省挙げての対策に取り組んでいるが、汚染物質の測定技術が低く、研修も少ない。 今回提案は、黒竜江省から「省全体で大気汚染対策に取り組んで行くため標準作業手順書の整備・技術普及の支援が必要」との要望に基づいたもの。
4. プロジェクト目標	黒竜江省環境部局職員がVOCや重金属類に関する有害大気汚染物質の測定技術を習得し、黒竜江省の設備・規制法令などの実情に応じた測定技術を確認する。
5. 対象地域	黒竜江省
6. 受益者層（人数規模）	黒竜江省住民等 （黒竜江省環境保護庁・省内各市環境部門職員に対する研修）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<アウトプット> 有害大気汚染物質の測定技術の確認及び標準作業手順書の整備 <活動> 1-1 黒竜江省から研修員を山形県に受け入れ、山形県環境科学センターで有害大気汚染物質のモニタリング方法及び測定技術を指導する。 1-2 山形県から専門家6名（3年間）を中国・黒竜江省に派遣し、現地の実情に応じた測定技術を確認させるための技術指導を行う。 2-1 技術指導と平行して、現地の設備・法令等に沿った内容の手順書を作成する。
8. 実施期間	2013年4月から2016年3月
9. 事業費概算額	13,964千円
10. 事業の実施体制	山形県環境科学センター等
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	山形県
2. 対象国との関係、協力実績	黒竜江省環境保護庁との協力関係は、平成11年より環境技術交流事業の実施に始まり、JICA事業を含めこれまでに17名の黒竜江省職員の招致、12名の山形県職員の派遣など両県省の交流実績があり、本事業を実施するにあたって十分な協力関係にある。